

地区のよさや魅力に目を向け、地区の広報活動や地区外の方との交流活動ができた コンシーデレ山手

活動の目的

フォトコンテストの活動を核として、地区住民どうし、移住希望者と地区住民のつながり、高齢者世代と若い世代のつながりといった人と人とのつながりをもたせる。その一連の取組の中で、さまざまな情報交流を行うことで、コミュニティの活性化や地区への移住・定住の促進を図る事業を行っていく。

活動の内容及び経過

- 4 5月・本年度の取組企画会議（コロナ対策を含めて）
- 6月・広報発信（フォトコンテスト作品募集）
⇒ポスターを町内外へ掲示・作品募集のチラシ町内全戸配布
- ・インターネット個人フェイスブック等で、作品募集及び広報活動開始
- 7月・作品募集、作品の集計 ⇒会場掲示のフォト作品の作成
- 8月・フォトコンテスト会場の準備
・フォトコンテスト事前審査（町長、教育長、弓削川柳社等 各種団体と連携）
- 9月・フォトコンテスト応募の礼状等送付
- 10月・フォトコンテストカレンダー作成準備
- 11・12月・フォトコンテストカレンダー作成
- 1月・フォトコンテストカレンダー送付と礼状送付

活動の成果・効果

本年度は、新型コロナウイルス感染症流行の恐れのため、小学校PTAとの連携はできなかったが、地域の高齢者を対象とした「フォトミニ講座」を3回開催することができた。毎回講師（町役場から2名、地域起こし協力隊1名も参加）を招き、スマホやデジカメの基本的な使い方の講座から始め、今年度はまず自分たちの活動の様子をお互いに撮影し、それを作品として、今回のフォトコンテストに7点応募することができた。

スマホやデジカメを初めて手にする高齢者ばかりだったが、今年度の講座の進め方をもとに来年度の取組につなげていきたいと考える。

今後の課題と問題点

- ①フォトコンテストへの応募について、地域の20～50代の参加は比較的多いが、地域住民のほとんどが高齢者のため、高齢者世代のフォト作品応募といった直接的な参加が少なかった。来年度は地域の高齢者を巻き込んだフォトコンテストの取組を探っていきたいと考える。



フォトコンテスト 金賞作品



フォトコンテスト 町長賞作品



高齢者フォトミニ講座の様子



フォトコンテスト展示会場のようす

- ②今年度は開催できなかった山手夏祭りだが、会場全体をフォトコンテストの作品としてとらえた会場づくりは来年度で3回目を迎え、一つの型として見えてきている。しかし、来年度はフォトコンテスト掲示会場が使えなくなる可能性があるため、展示会場や審査方法について、細かい修正やさらなる工夫が必要である。

- 代表者：山本祐一 ●所在地：久米郡久米南町山手
- TEL：090-2007-0606 ●E-MAIL：kazu-y@mx91.tiki.ne.jp
- URL：https://teruizu.jimdo.com/
- 設立年：2015年 ●メンバー数：20名